

まちのわだい

久井町に 地域おこし協力隊員が着任

久井町で活動する地域おこし協力隊員に、大阪市出身の真野郁子さんが着任しました。任期は9月1日から最長3年で、古民家などを活用した民泊や、自然農法による野菜の栽培、SNSを使った情報発信などに取り組む予定です。依頼状の交付式で真野さんは「海外に住んでいた経験を生かして、自然豊かな久井町の良さを国外にも発信していきたい」と抱負を述べました。

☎地域企画課(☎0848・67・6011)



火災・救急事案の初期対応 レスキューポストマン誕生

市消防本部と三原郵便局は9月9日、集配業務中の郵便局員が火災などを発見した場合、初期消火や負傷者の救命処置、119番通報を行うことを盛り込んだ協定を県内で初めて締結しました。三原郵便局の全ての集配車両に「レスキューポストマン」のステッカーが貼り付けられ、機動力を生かした初期対応が行われます。両者は地域の安全・安心のため協力して取り組んでいきます。

☎消防本部予防課(☎0848・64・5927)



J Aと地域の見守り活動で協定

市と三原農業協同組合(J A三原)、広島中央農業協同組合(J A広島中央)は8月25日、地域の見守り活動に関する協定を締結しました。両組合の職員が、業務で高齢者などと接した際に異変を感じた場合、市に連絡をし、市は高齢者相談センターなどの関係機関と連携して対応します。

☎高齢者福祉課(☎0848・67・6055)



▲協定書に署名するJA三原の西原常雅組合長(右)と岡田市長



▲協定書を掲げるJA広島中央の河野孝行組合長(左)と岡田市長

副市長が就任

8月28日、市議会から選任の同意を得て、副市長に池本勝彦さんが決まり、9月1日に就任しました。任期は4年です。

池本勝彦副市長

昭和56年に広島県職員となり、財産管理課長、総務課長、西部総務事務所長を経て、平成25年5月から平成31年3月まで三原市副市長を務めた。令和元年6月から令和2年8月まで県男女共同参画財団常務理事。62歳。三原市出身。



一中生が献血を呼び掛け

第一中学校の生徒が8月23日、フジグラン三原駐車場の献血会場で、買い物客らに献血への協力を呼び掛けました。授業で献血の大切さを学んだことがきっかけとなり、生徒会が呼び掛けを企画。1～3年生の16人が、プラカードなどを掲げ「命をつなぐ献血へのご協力をお願いします」などと訴えました。生徒たちの呼び掛けにより、多くの人が献血ブースを訪れました。

☎学校教育課(☎0848・67・6155)

